

産経が知事の言葉「賛成、反対で傍聴席から(禁止の)やじがでた」と。議長の注意あり。

### 県議会、朝鮮人追悼碑取り消し請願採択 知事「政争の具させず」

#### 公園内設置、厳密に審査

高崎市の県立公園「群馬の森」の朝鮮人追悼碑問題で県議会本会議は16日、設置許可取り消しを求める請願3件を採択した。今後は県の判断が焦点となるが、大沢正明知事は「追悼碑が政争の具になってはいけない」としており、公園内に設置すべき施設かどうか厳密に審査する考えだ。

賛成討論で橋爪洋介議員(自民)は「慎重審議を重ねたうえで、(平成16年に)設置許可が条件付きで下りた。膨大な時間と労力を費やし、各方面に配慮して、さまざまな方が心を砕いてようやく設置に至った」と経過を説明し、「これだけはという条件をほごにされてしまったことは遺憾で残念だ」と指摘した。

一方反対討論では、黒沢孝行議員(リベラル群馬)が「守る会の回答には一部政治的な発言を認めつつも、今後は追悼に徹し、県当局の具体的な指導を受けるとしている。日中、日韓の関係が良好とは言えないときに群馬の地から火に油を注ぐような行動はとるべきではない」と主張した。

その後行われた請願採決では、リベラル群馬と共産党の議員が反対したもの、自民党、公明党、新星会の各会派が賛成し、賛成多数で採択された。大沢知事は閉会后、記者団に「賛成、反対でやじが出た。県民の憩いの場でないければいけない公園にあるべき施設

な問題がある。政争の具になってはいけない」とに議論する。できるだけ早くの考えを強調した。許可更

### 朝鮮人強制連行追悼碑 知事「公園にあるべき施設か」

県が県立公園「群馬の森」(高崎市綿貫町)での設置許可更新を保留している朝鮮人強制連行の犠牲者追悼碑をめぐる、県議会は16日の本会議で、更新の不許可を求める請願3件を自民党、新星会、公明党の賛成多数で採択した。第2回定例会はこの日までに計20議案を可決し、閉会した。

大沢正明知事は本会議後の取材に「公園にあるべき施設なの

#### 更新不許可を求める請願 県議会採択後に認識示す

かどうか問題はある」との認識を示し、「県民の安全を確保して、憩いの場とならないといけない。政争の具になってはいけない」と述べた。更新許可をするかどうかの判断時期については「できるだけ早く」と述べるにとどめた。

また、憲法96条を含む憲法改正案を早期に国民投票で判断することなどを求めた意見書を自民党単独の賛成多数で可決。この日は7月27日投票の北群馬郡区の県議補選費2424万円の予算案も追加提出され、当初提出の8億9129万円と追加提出済みの大雪被害対策費235億8356万円と合わせ、計244億9909万円の一般会計補正予算案が可決された。(上田雅文)

な問題がある。政争の具になってはいけない」とに議論する。できるだけ早くの考えを強調した。許可更